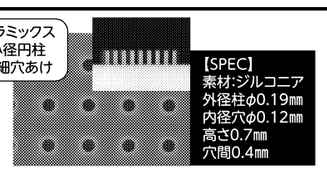
ツールコミュニケーション
オーエスジー
〈工具の技術的なご相談は…〉
コミュニケーションダイヤル 0120-41-5981（よい工具は一番）9:00～12:00／13:00～17:00 土日祝日を除く
〈その他のご相談は…〉 E-mail:cs-info@osg.co.jp
本　社 〒442-8543 愛知県豊川市本野ヶ原3-22 TEL(0533)82-1111 FAX(0533)82-1131
東部営業部 TEL (03)5709-4501 中部営業部 TEL(052)703-6131 西部営業部 TEL(06)6538-3880
ホームページ　http://www.osg.co.jp/
東京国際航空宇宙産業展2013 ASET 東4ホール D-01



DMG / mori seiki
Quality and Innovation
第9回 切削加工ドリームコンテスト 微細加工部門
アイディア賞受賞

セラミックス 小径円柱 微細穴あけ

【SPEC】
素材:ジルコニア
外径柱φ0.19㎜
内径穴φ0.12㎜
高さ0.7㎜
穴間0.4㎜

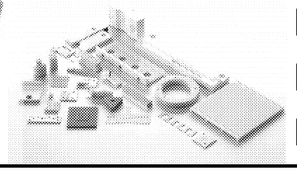
スチール セラミックス 精密複合部品

【SPEC】
ボディ:ステンレス
ピン:ジルコニア
カバー:窒素珪素

高強度、高硬度、高耐熱性といった機能性は高いが加工が難しいといわれるセラミック素材にもフォーカスしさまざまな加工アプローチで挑戦。抜きんでた「精密さ」「微細さ」を要件とする高付加価値の機構部品や治工具を実用レベルで受託加工を行っております。

試作テスト案件にご協力できます。この機会にぜひお問い合わせください。
otoiawase@otsuka-pr.co.jp

経済産業省「明日の日本を支えるモノづくり300社」選定　社）精密工学会会員
大塚精工株式会社
Steel & Ceramic ultraprecision machining company
検索　大塚精工　セラミックス　金属



●本社工場
福岡県糟屋郡志免町別府東3-4-6 亀山工業団地内
TEL 092-931-2511　FAX 092-937-2911
●営業所
新潟県魚沼市原虫野385番地
TEL 025-793-1010　FAX 025-793-2053
●営業所
埼玉県さいたま市大宮区高鼻町1-80 4F
TEL 048-658-0800　FAX 048-658-0801



BSK ISO
航空・宇宙及び防衛分野の認証は実績のあるBSKに!!

特　徴
◆ 航空・宇宙及び防衛分野認証のパイオニア（業界トップシェア）
◆ JIS Q9100:2009 認証機関として認定
◆ 経験豊富な産業経験審査員が多数所属
◆ 4種類の審査登録が可能（QMS、AS-QMS、EMS、ISMS）
◆ 防衛省殿指定立入制限区域での審査可能な機関
◆ BSKの認証事業は公益目的事業

公益財団法人 防衛基盤整備協会 システム審査センター（BSK）
〒160-0003 東京都新宿区本塩町21番3-2 共済1号館6F
Tel.03-3358-8705　Fax.03-3358-8706
E-mail shinsa_center@bsk-z.or.jp　URL www.bsk-z.or.jp


# 東京国際航空宇宙産業展２０１３

## あす開幕

2日―4日 東京ビッグサイト

「東京国際航空宇宙産業展（ASET）2013」が、あす2日から4日まで、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれる。主催は東京都と東京ビッグサイト。航空・宇宙関連の高度な加工技術や独創的な開発力を世界有数のビジネス拠点である〝東京〟から発信する。入場料は2000円（ウェブでの事前登録者、招待券持参者は無料）。開場は10時から17時まで。

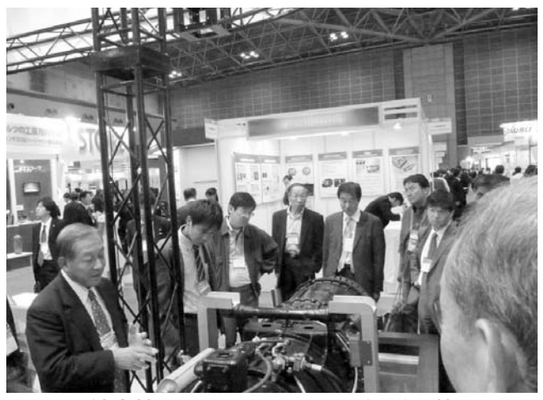
## 高度な技術、独創的な開発力
## 〝東京〟から発信

ASET2013は航空・宇宙産業の振興と製造業の一層の発展、そして中小企業の航空関連市場の参入支援を後押しするのが狙い。2009年から1年おきに開かれている。3回目となる今回は前回の260社・団体、251小間から大幅に増え、国内外から331社・団体、305小間が出展する。

出展企業は航空・宇宙産業関連の製造業をメーンに、自治体関連や航空機関連の地域クラスターが多く含まれている。会場内は機体・機体主要部、測定機器、素材、技術・設計・部品、工作機械・工具などカテゴリーごとに分けられており効率的に展示内容を見られるようになっている。また米国、イスラエル、ドイツ、インドなど海外企業もブースを設ける。

航空機産業は300万点にも及ぶ部品で構成され、巨大かつ極めて精密なシステムと言える。関連技術が幅広く技術的な波及効果が高いことから東京都では戦略産業と位置づけ、07年度より都内の中小企業の支援事業を展開。新規参入が難しい業界において必須と言われる品質管理規格「JISQ9100」や工程認証プログラム「Nadcap」の取得支援、米国航空法や工業規格、国際商取引に必要な知識など足元から強化するきめ細かなテーマを掲げる。

また東京都以外にも技術レベルアップや共同受注体制の確立を目指した地域コンソーシアムの動きが活発だ。今回の展示会でも東北、新潟、栃木、山梨、長野県飯田市、富山県、浜松市など各地域のコンソーシアムが出展。これらそれぞれに商談やネットワークの構築拡大が期待されている。


航空機エンジンについての解説を熱心に聞く来場者（前回の展示会場）

新興国での需要増や格安航空会社（LCC）の世界的な普及などを追い風に航空機市場、特に民間旅客機市場はグローバルで大きく成長すると見られる。2032年には主力のジェット旅客機の運航機材は現状の1・8倍の3万4000機に達する見込み。米ボーイングと欧州エアバスの2強が競って激烈な受注合戦を繰り広げる中、ティア1、ティア2、ティア3といった一連のグローバルサプライチェーンの構造に新たに食い込むまでには長い道のりがかかると見られる。

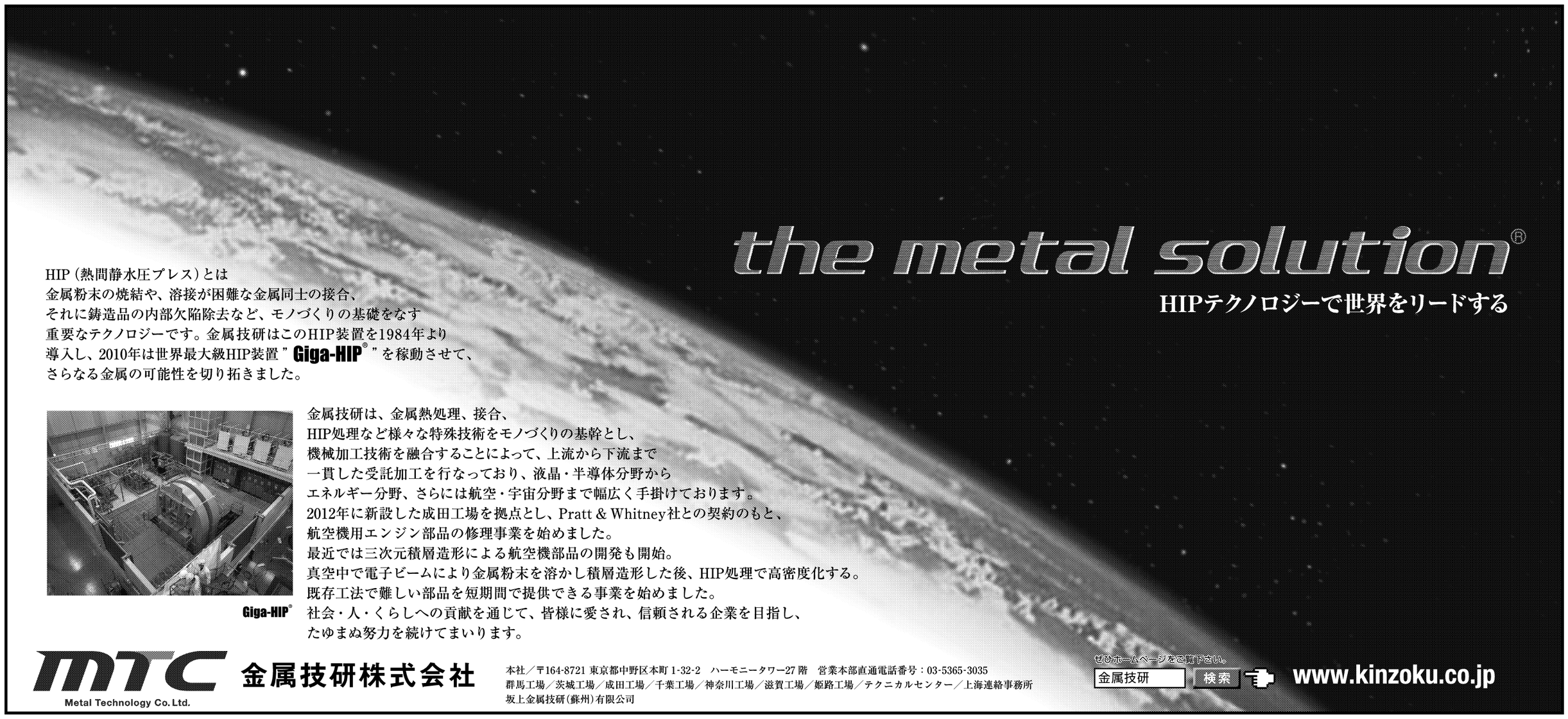
日本の中小企業のモノづくり力は世界の中でポテンシャルが高いと言われるが、何十年というスパンで品質担保するための管理手法、飛行機に必要な性能の把握、取り引きのベースとなる英語力、開発資金まで課題は数多く横たわる。世界市場でプレゼンスを高めるには経験や知識を積み増していくことが欠かせず、今回の展示会でも各社・団体のアピールが注目される。

併催イベントでは航空機関連の市場動向のほか、参入事例の紹介、LCCの戦略、航空機向け複合材などをラインアップ。充実した内容がそろっており、来場拡大につながると見られる。

## 宇宙産業の基盤確立へ

今回は宇宙関連産業の情報も必見だ。宇宙開発産業の育成は航空機とともに世界各国が戦略的に取り組んでおり、国内でも従来の研究開発重視から利用拡大や産業基盤の確立への転換が重要視されている。また安全保障や防災、地球観測などさまざまな面で活躍が求められるようになっている。

出展企業の中で見逃せないのが世界の商業衛星の打ち上げ市場において大きなシェアを持つアリアンスペース。フランス、ドイツなど欧州各国が設立した民間衛星輸送会社で、ロケットの打ち上げ専門会社として多くの実績を持つ。3日10時半からの「宇宙開発・宇宙利用の現状と展望」では「いかにしてアリアンスペースは商業打ち上げビジネスのリーダーになったのか」と題したセミナーでプレゼンを聞くことができる。

日本では14年度から次代の国産基幹ロケットとして注目の「H3」（仮称）の開発が着手される。三菱重工業など民間主導により開発段階からコスト削減を重視し、国際競争力の確保を目指す。新興国で小型衛星の需要が生まれるなど新たな時代に入っており、日本の技術が参入拡大するには開発製造費の抑制が必須。展示会やセミナーで発表される内容はこの大きなヒントとなりそうだ。

今年度、H２Aで打ち上げられる陸域観測技術衛星「だいち２号」(C)JAXA